



全大教青年交流集会に参加してきました(6)



二日目 分科会(技術職員理工系)

ようやく分科会に入ります。分科会は8テーマ。だいたい職種別の分科会で、その他組合関係のが2テーマあり、オイラは技術職員なので「技術職員理工系」へ参加してきました。このような集会の参加内訳って、事務職員や技術職員が多いのよね。だから分科会も偏ってしまい、その他でやるってことが多いけど、今回は細かく分けて8テーマ。参加は少なくとも



同じ世代、職種で頑張る仲間の意見を聞けるってためになることだと思うよ。んっでもって「技術職員理工系では何を話したの??」ってことだけど、まずは技術組織の問題と技術職員の大学における位置付けについて話しをしました。組織については大学全体で技術組織がまとまっている「全学組織型」と熊本大学みたいに学部ごとに組織がある「学部組織型」がある。「全学組織型」の技術職員の長は「標準職務表」にも記載されており、管理職手当や、昔でいう事務職員の学部係長同等以上の号級が与えられてたりするけど、「学部組織型」では、その「組織」での「役職」が、熊本大学の「標準職務表」に載ってないのよね。なぜ??何が違うのか??それは「大学が承認して作った組織」なのか、「学部が独自に作った組織」なのかだとさ# 熊大の場合ね。



例えば、学部組織型でどんなに運営が上手くいってしようと、新規採用の面接等(人事管理)に長が関わろうが、本当の意味での組織としての認識がないのが現状である。大学それぞれで「全学組織型」「学部組織型」を選んで運営しているのは、大学にあった組織形態だったからではないだろうか。

それを「学部が独自に作った組織だから」ってそりゃぁないぜ。あの当時、文科省や国大協においてモデルが出され、それを学部内で検討し組織化へと進んだ。そのときに大学としても組織化することを認めてるはずだよね。なのに何なのさ…。熊本大学工学部では「技術職員数 38 名、5 系総括 4 名(1 系兼任)、副技術部長 1 名 計 43 名」と工学部事務組織(工学部総務係 12 名、教務係 5 名)よりもはるかにでかい組織なんだぜ。そして先にも書いたように、技術部で予算を運営し、人事管理も行ない、職員の仕事のマネージメント(管理)までしているにもかかわらず、学部事務組織係長同等位じゃないのよ。国家公務員時代、大学の技術職員と事務職員は同じ行政職(一)で同等なんていいながらも、当時組織のなかった技術職員は「部下がない」「研修もない」などで、昇給等に微妙に差があったと聞きます。そこを改善していこうと技術組織を立ち上げ、事務組織に負けたくないよう頑張ってきたんだけど、こんなじゃ学部組織の技術職員っていつまで経っても一般事務職員より下に見られてしまいます。# いろんな意味で…。

あぁ、報告より愚痴が…。あと超勤問題にも深く関わって話したけど、この件に関しては熊本大学教職員組合青年部の企画「熊大青年交流会(勉強会)」を開催するときにもお話します。

最後に終わり方が締まらないけど、あんまりこのネタ長いんで締めます。ほんと「熊大青年交流会(勉強会)」やるときに要望があればお話しします。次号は大会の話とビアパーティーかな。